

アジア養蜂研究協会 書籍販売のご案内

98/11/11



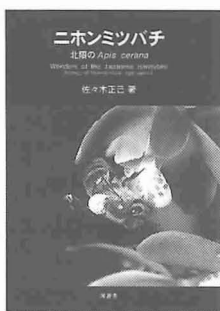
'98年の新刊から

「ニホンミツバチ 北限の *Apis cerana*」

佐々木正己著 (1998)
p.192. 海游舎: 定価税別
2,800円, 頒価2,600円,
450g

熱帯アジアのジャングル
で身につけた「すばしこ
さ」と北国の冬を乗り切
る「息の長さ」を合わせ
持つニホンミツバチ。

人々を魅了しつつまだ知られざる生態の不思議を、著者自身の記録写真と、最新の生物学的知見をふんだんに集め紹介する。[カタログ番号 SS200]



「アジアの昆虫資源 資源化と生産物の利用」

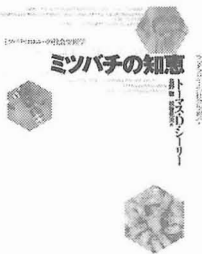
国際農業研究叢書 松香
光夫, 栗林茂治, 梅谷献二
著 (1998) p.191. 農水省国
際農林水産業研究センター
: 定価2,100円 (+税105)
頒価2,000円, 300g

アジア地域における有用
昆虫資源を地域の植生条
件との関連において考察
し、その分布、機能の特性、有効利用の可能性
を明らかにした。絹糸昆虫の生産と利用、熱帯
及びアジアにおける養蜂、昆虫産生物質の生産
と利用、天敵昆虫の生産と利用、食用・薬用と
しての昆虫の利用など。[カタログ番号 M300]



「ミツバチの知恵 ミツバチ コロニーの社会生理学」

トーマス・D・シーラー著, 長
野啓, 松香光夫訳 (1998) p.
362. 青土社: 定価3,200円(+
税160)頒価3,000円, 560g
社会性昆虫であるミツバ



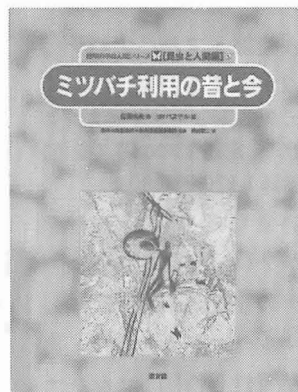
チのコロニー採餌行動を詳細に研究・分析し、
コロニー内で機能する数多くの微妙な情報伝達
のしくみを解き明かした。社会生理学の黎明を
告げる書。[カタログ番号 S100]

「ミツバチ利用の昔と今」自然の中の人間シ リーズ「昆虫と人間編」③

松香光夫著 (株)パ
ステル絵 (1998)
p.32. 農山漁文化
協会定価2000円
(+税150) 頒価
1,900円, 530g

ミツバチの巣の
ロウがフロッピ
ーディスクに、
社会性昆虫の代
表、ミツバチの

おもしろい生態からローヤルゼリー、プロポリ
ス、花粉だご、蜂ろうなどミツバチの生産物
の利用。[カタログ番号 M200]



「蜂は職人・デザイナー」

奥本大三郎, 吉田忠晴
他著 (1998) p. 83.
INAX出版定価1,800
円 (+税90) 頒価1,700
円, 320g

巣の造形に卓越した
技とセンスを發揮す
るハチたちは、家造り
の巧みな職人であり、デザイナーでもある。自
在な造形デザインから建築技術、耐震構造、空
調システム、増築に至るまで、その比類ない職
人ぶりを紹介する。六角形をつくるミツバチの
建築技術 (吉田), 狩りバチたちの集合住宅 (松
浦), 畏敬された隣人 (渡辺孝) ほか。[カタロ
グ番号 IN100]



「日本動物大百科 ⑩ 昆虫Ⅲ」

日高敏隆(監修) 大谷剛他(編集)(1998)
p.187. 平凡社:定価
3,800円(+税190)
頒価3,800円, 1.3kg
高度な社会を進化させたハチ・アリの仲間と、子供に人気のクワガタ、カミキリ、ホタル、テントウムシの仲間の生態。日本産全科の情報を掲載。[カタログ番号 OH100]



「特集・マルハナバチ」昆虫と自然

1998年5月号

p. 36. ニュー・サイエンス社: 定価1,300円(税込)
頒価1,170円, 80g
いまなぜマルハナバチか?(小野), マルハナバチの生態的特徴(松浦), マルハナバチの産卵・育児習性(片山), マルハナバチの室内飼育法(光畑・米田), マルハナバチの農業への利用(浅田)他。[カタログ番号 ON300]



既刊から

(下記の書籍もまだ在庫があります)

「ニホンミツバチ誌」

岡田一次著(1997)
p.86. 玉川大学出版部:
定価2,500円, 510g
1990年発行の初版は数多くの貴重な知見と200枚以上の素晴らしい写真を含み、著者の40年にわたるニホンミツバチ研究の集大成として



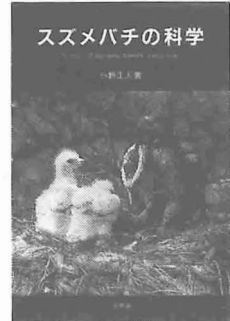
歓迎された。岡田先生の米寿を記念し玉川大学出版部から新装版が発行された。近年アジアでトウヨウミツバチ養蜂が再評価されており、ニ

ホンミツバチに対する内外の関心に応えるため、英文の説明が一部加えられた。[カタログ番号 OK200]

「スズメバチの科学」

小野正人著(1997)p.174.
海游舎: 定価税別2,700円,
頒価2,600円, 410g

日本に見られるスズメバチの全種について、その生態、巣の構造などを科学的に解説。227枚のカラー写真と説明で明快に示す「カラー図版



篇」と、最新の学術情報を満載した「解説篇」からなる。スズメバチ幼虫の唾液にヒントを得て開発されたスポーツドリンクの話題や、刺されないための方策と刺されたときの対策など、具体的に幅広くまとめられている。[カタログ番号 ON200]

「ホントに効くのか!? プロポリス」

酒井哲夫著(1996)p.190. 双葉社:
定価850円, 頒価800円, 180g

インパクトの強いタイトルだがまじめな啓蒙書。1章プロポリスにはどんな効果があるのか、2章プロポリス再発見、3章プロポリスの何がどう効く



のか、4章ミツバチにとってのプロポリス、5章プロポリスの見分け方、6章プロポリスの使用方法。[カタログ番号 SK200]

「ポリネーターの利用」

松香光夫著(1996)p.153.
サイエンスハウス: 定価
1,800円, 頒価1,600円, 205g

ミツバチやその他のハナバチ類を中心に、農作物の豊かな実りをもたらす花粉媒介昆虫(ポリネーター)の素顔と働きを解説し、諸外国の現状を通して新しい利用法や問題点を述べる。[カタログ番号 M100]



「マルハナバチ・ハンドブック—野山の花との
パートナーシップを知るために—」

鷺谷 いづみ, 小野 正人ほか
(1997) p. 49. 文一総合出版: 定
価 1,200 円, 100g

マルハナバチの観察を楽しん
だり「地域の生物多様性」の
指標としての調査などに役立
つミニガイド. 種類ごとの生
態写真, 同定に役立つ特徴,
野山の花とのパートナーシッ
プをしめす図鑑
篇, 形態上の特徴から種を調べる検索表と分
類, 形態, 生態, 花との関係を示す解説篇から
なる. [カタログ番号 W100]



番号 SS100]

「ミツバチのはなし」

酒井哲夫編著 (1992) p.
194. 技報堂出版: 定価
1,545 円, 頒価 1,300 円,
240g

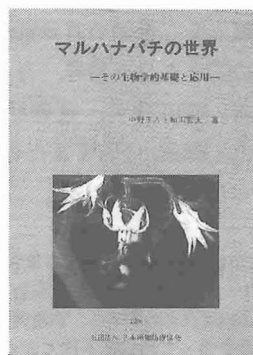
専門家の目を通して明ら
かにされたミツバチの神
秘的な生態や生理, 不思議
な行動, 人間との関係
など最新の情報を紹介す
る興味深い 31 話. [カタログ番号 SK100]



「マルハナバチの世界—その生物学的基礎と応
用—」

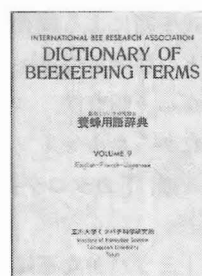
小野 正人・和田 哲夫
著 (1996) p. 132. 日本
植物防疫協会: 定価
2,500 円, 250g

トマトのポリネーター
として輸入されている
マルハナバチの解説
書. 生物学 (小野担当)
とその利用 (和田担
当) にわけて, マルハ
ナバチの自然史, 研究史, 世界のマルハナバチ
事情, 使い方から関連情報まで. [カタログ番
号 ON100]



「養蜂用語辞典」第 9 巻 (英語-仏語-日本語)

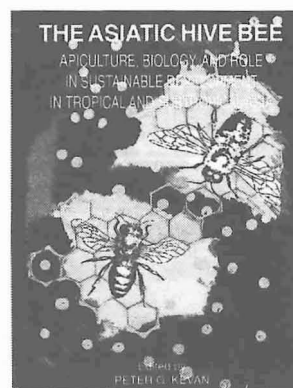
IBRA 編 (1985) p.187. 特別
割引中, 頒価 1,000 円, 450g
ミツバチ科学研究や養蜂関
係の仕事を通して, 世界各
国と交流するとき, 特に
文献類を読む際には必携の
一冊. [カタログ番号 IB
100]



「The Asiatic Hive Bee: Apiculture, Biol-
ogy and Role in Sustainable Development
in Tropical and Sub-tropical Asia」

Kevan, P. 編 (英文) (1995) p. 315. Enviroq-
uest, Ontario: 頒価 3,500 円, 700g

1998 年 マレ
シアで開催の
「熱帯および亜熱
帯アジアにおけ
るトウヨウミツ
バチ養蜂の振興
に関する会議」
の論文集. 玉川
大学関係者の論
文 4 編を含む本



著はトウヨウミツバチ養蜂を多面的にとらえて
おり, アジアの養蜂振興におけるトウヨウミツ
バチ利用の意義について理解を深めることが
できる. [カタログ番号 K100]

「養蜂の科学」

佐々木正己著 (1994) p.
159. サイエンスハウス: 定
価 1,800 円, 頒価 1,600 円,
180g

最近の昆虫機能利用, 開
発の動きを受け, 有用昆
虫, 資源昆虫を代表する
ミツバチについて, 養蜂
がその高度な社会機構を
どこまで活用し, コントロールしてきたかを生
物学的に探り, 最新の知見に基づいて人工調節
技術の現状と今後の展望を述べる. [カタログ



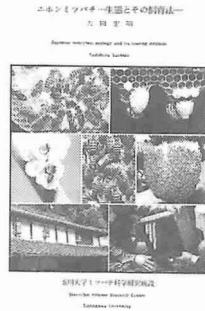
ミツバチ科学研究施設 別刷資料

「ニホンミツバチ生態とその飼育法一」

吉田忠晴 著 (1998) p.

56. ミツバチ科学研究施設：頒価 1,000 円, 130 g

「ミツバチ科学」に計 5 回にわたって連載されたものを 1 冊にまとめた。ニホンミツバチと養蜂の歴史、和名と学名、野生群の生息場所、各地の伝統的飼養法と採蜜、ニホンミツバチの生態、可動巣枠式巣箱による飼養法と採蜜、セイヨウミツバチとの種間相違点、東南アジア各地のトウヨウミツバチ飼育法、ニホンミツバチの将来など。これからニホンミツバチを飼おうという人必携の一冊。[カタログ番号 Y100]



「ミツバチ女王蜂の分化とローヤルゼリー」

学術研究所紀要別刷 松香光夫著, (1997) p. 12.

玉川大学学術研究所：頒価 200 円, 50 g

103 編の引用文献は内外のローヤルゼリー関連資料を網羅している。I. 玉川大学での研究, II. 女王蜂と働き蜂 III. 女王蜂の決定とホルモン IV. RJ の分泌腺 V. RJ の成分 VI. 幼虫の人工飼育 VII. 女王蜂分化と RJ. [カタログ番号 M150]

「ミツバチ科学」特集号

下記のミツバチ科学バックナンバーは 1 冊各 1000 円でお分けします (残部に制限あり)。

18 巻 3 号 岡田一次博士米寿記念号

「岡田一次博士業績目録」12 頁を掲載

[カタログ番号 HS183]

19 巻 1 号 ローヤルゼリー特集号

論文、総説など 4 編を掲載

[カタログ番号 HS191]

19 巻 2 号 プロポリス特集号

論文、総説など 5 編を掲載

[カタログ番号 HS192]

19 巻 3 号 ミツバチの病気とダニ特集号

論文、総説、関連記事など 6 編を掲載

[カタログ番号 HS193]

ミツバチの絵はがきセット

5 種 (各 8 枚組 200 円) 玉川大学ミツバチ科学研究施設:

『ミツバチ カラー絵はがき』

[カタログ番号 PC01]

『世界のミツバチ切手』 [PC02]

『日本の養蜂』 [PC03]

『ミツバチ生態絵画集』 [PC04]

『ASIAN HONEYBEE』 [PC05]

お申込み方法

購入をご希望の方は別添の申込用紙の所定の欄に①カタログ番号、書名と部数、②送付先ご住所、③ご氏名、④電話/FAX 番号をご記入の上、郵送、FAX または e-mail で下記までお知らせ下さい。

◎代金は後払いです。書籍送付時に同封する郵便振替用紙で、下記アジア養蜂研究協会宛にお送り下さい。なお頒価に送料は含まれません。別途実費を申し受けます。振替用紙半券をもって領収証と代えさせていただきますが、公用伝票(納品請求書など)の必要な方はお申し付け下さい。

冊子小包郵便料金 (参考: 98 年 10 月現在)

重さ	150g	200	250	500	750	1kg	1.5	2	2.5	3
料金	180	210	240	310	340	380	450	520	590	660

アジア養蜂研究協会:

〒194-8610 町田市玉川学園 6-1-1

玉川大学ミツバチ科学研究施設内

アジア養蜂研究協会

(担当: 榎本ひとみ)

TEL/FAX: 042-739-8685

e-mail: HSRC@agr.tamagawa.ac.jp

郵便振替

口座番号: 00180-6-549964

口座名: アジア養蜂研究協会